

地域支え合い活動創出コーディネーターからのお知らせ

65歳から始める生きがい作り

上京区地域支え合い活動
入門講座を開催します

健康寿命を延ばすためには、筋力トレーニングだけではなく、社会参加を通じて生きがいを持つ事が効果的だと言われています。ですが、“社会参加をしようにも何から始めれば良いかわからない”という声を多くお聞きします。

そこで、活動のノウハウをお伝えし、社会活動への参加を通じた生きがい作りをお手伝いすることで、地域での支え合いの輪を広げる事を目的とした講座を開催します。

元気に長生きするために、たくさんの皆さんのご参加をお待ちしています！

開催日時 平成29年8月30日(水) 午後2時～4時

場所 上京区老人福祉センター

定員 30名(先着順)

申し込み方法 ①氏名、②住所、③電話番号、④性別、⑤年齢を添えて、「来所」、「電話」、「FAX」のいずれかにて、下記までお申し込みください。
なお、FAXでお申し込みの場合は、「上京区地域支え合い活動入門講座参加希望」とご記入ください。

申し込み・問い合わせ先 → 上京区地域支え合い活動
創出コーディネーター 永松

京都市上京区葭屋町通中立売下る北俵町317番地（元聚楽小学校）
京都市上京区社会福祉協議会内
TEL 432-9535 FAX 432-9536

地域支え合い活動創出コーディネーターとは
京都市が、地域で高齢者を支えていくために必要な生活支援サービスの創出や担い手の養成、ネットワークの構築を目的として各区社会福祉協議会に配置しているコーディネーターです。

日常生活自立支援事業 (地域福祉権利擁護事業) 生活支援員 募集中

[問い合わせ先]
上京区社会福祉協議会 (担当:柴田・齋藤)
TEL.431-0815

上京区社会福祉協議会では、高齢の方や知的・精神に障がいのある方などで、判断能力が十分でなく、地域で生活することに不安のある方を対象に「日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)」を実施しています。

今回、この事業の担い手となる「生活支援員」を区民の皆様から募集しています。生活支援員は、支援計画に基づき、定期的に利用者さん宅などを訪問し、福祉サービスの利用に関する手続きや日常的な金銭管理などの支援を行います。

登録・活動にあたっては、養成研修の受講が必要となりますので、ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

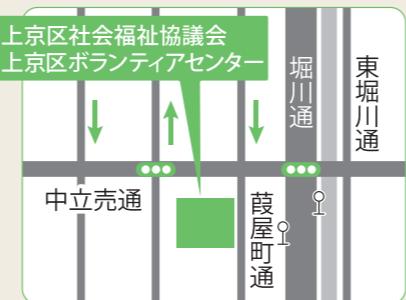
*福祉サービスに従事している方(ホームヘルパーや福祉施設職員等)、民生委員の方、75歳以上の方は登録いただけませんので、ご了承ください。

発行 社会福祉法人
京都市上京区社会福祉協議会
京都市上京区ボランティアセンター

〒602-8247

京都市上京区葭屋町通中立売下る北俵町317番地
TEL(075)432-9535 FAX(075)432-9536
e-mail fukusi04@mediawars.ne.jp

アクセス
市バス堀川中立売より
徒歩1分
※元聚楽小学校内



第21号
平成29年8月発行

区社協 かみざよフ ニュース NEWS

気軽に福祉のことについて学んでいただくことを目的に、講座を開催しています。

今回は、「認知症」をテーマに、徘徊を繰り返す認知症の母とそれを見守る娘の日常を追ったドキュメンタリー映画「徘徊～ママリン87歳の夏～」を上映します。監督の「家族が『壊れた』とき、こういう『覚悟』の仕方もあるということを描きたかった」という言葉のとおり、介護の新しい形を教えてくれる作品です。講演では娘さんから、今の暮らしぶりやなぜ認知症の母を徘徊自由にしたかなどお話をいただきます。講座を通して、認知症を受け入れるとは…人間とは…老いとは…、皆さんで一緒に考えたいと思います。どうぞ、ご家族そろってお楽しみください。

平成29年9月5日(火)

午後1時30分～4時(午後1時より受付開始)

同志社大学寒梅館 地下1階

ハーディーホール(烏丸通今出川上る西側)

※地下鉄「今出川」駅より徒歩2分 ●公共交通機関をご利用ください。

第1部 映画「徘徊～ママリン87歳の夏～」

第2部 講演「認知症の母と暮らして」
酒井章子 氏(映画に登場する娘さん)



対象 上京区民、関係機関職員、同志社大学学生等

定員 800名(申込不要、車いす席有) 入場無料

環境 ①映画上映:ユニバーサル上映(日本語字幕と音声ガイド付き)

②映画上映以外:パソコン通訳(同志社大学障がい学生支援室学生サポートスタッフ)
手話通訳有

問合せ 上京区社会福祉協議会(担当:富家・下條)
京都市上京区葭屋町通中立売下る北俵町317番地

TEL 432-9535 FAX 432-9536

主催:上京区役所、上京区社会福祉協議会 共催:同志社大学学生支援センター・障がい学生支援室 協力:京都リップル



発行:社会福祉法人京都市上京区社会福祉協議会・京都市上京区ボランティアセンター

平成29年度 第1回
上京区ふくしを
なんでもしつとこ講座
の開催

第1回

上京区

なんでもしつとこ
講座

の開催



平成28年度 上京区民地域福祉フォーラム 「子ども・地域・よい関係」



去る3月10日(金)、上京区総合庁舎で上京区民地域福祉フォーラムを開催し、100名を超える方にご参加いただきました。

「子どもや保護者に地域はどう接すればいいんだろう?」「子ども食堂ってよく聞くけど、どんなもの?」といった疑問を受け、「子ども・地域・よい関係」というテーマでフォーラムを開催しました。

はじめに、ナビゲーターである大谷大学の志藤教授から、「貧困には“経済的貧困”だけでなく、社会や人とのつながりが少ない“関係性の貧困”がある」ことや、「地域が子どもや子育て世帯にどう向き合うかが大切である」というお話をいただきました。

つぎに主催である上京区地域福祉推進委員会副代表の仙田氏から、「子どもの暮らしと地域福祉の役割」についてご報告いただきました。

各地に子ども食堂が急速に広がり「子ども食堂とは何なのか?」「子どもの貧困対策なのか?」などの疑問や戸惑いが広がっていることを受けて、子ども食堂は理念によって4つのタイプに分けられ、対象が幅広く、交流を重視する「共生食堂」と、貧困家庭など対象を狭くし、課題の発見を重視する「ケア付食堂」というタイプが代表的で

あることをご報告いただきました。そして、集団から個人、核家族化、“人と人”より“人と機械”的つながりが増えており、昔と今では子どもを取り巻く環境が大きく変わっているということをお話いただきました。

最後に、2つの子ども食堂の実践報告をいただきました。

伏見区の“京都藤城子ども食堂”は、子どもを持つ母親が中心となって地域の方を巻き込みながら運営されています。上京区の“子ども食堂@まほロバ”は、大学生が子どもとその保護者のために立ち上げました。どちらも、子どもがひとりで食べる「孤食」を問題と感じて、取り組みを始められ、子どもが安心して来られる居場所となっています。

このフォーラムを通じて、家庭や学校以外の子どもの第3の居場所として、地域で積極的に子どもを支える取り組みが増えることを期待しています。



参加者からの声 / 「子ども食堂の具体的な運営・課題がよくわかった」

「子ども食堂=貧困と考えていたけれど、それだけではないことがわかった」
「子ども食堂は地域で子どもを育てる取り組みだとわかった」
「地蔵盆や色々な地域の行事などで子どもとかかわりを持つのもいい」

HPリニューアル 平成29年4月開設!

上京区社会福祉協議会のホームページをリニューアルしました。スマートフォンでの閲覧にも対応しています! 「URL:<http://kamigyo-syakyo.jp/>」ぜひ、ご覧ください。



子ども食堂@まほロバ

平成28年度上京区民地域福祉フォーラムで事例の発表をしていただいた「子ども食堂@まほロバ」で、朝食の提供が始まりました。

「子ども食堂@まほロバ」は、毎週木曜日の午前7時~9時30分と、月1回午後6時~、西大路一条東入の大将軍商店街の中にある「魔法にかかったロバ」で開店しています。

地域の八百屋や米農家の協力を得て運営をしており、中学生以下には無料で栄養たっぷりの食事を提供しています。

子ども食堂に来た保育園の先生から、「1人で子育てをしているお母さん達の中には、夜遅くまで働いて一生懸命子育てをして、疲れて朝起きる事ができない方がいる。そうなると朝食の準備ができず、何も食べずに園に来る子が問題になっている」という話を聞いた山崎亮太さん(同志社



大学2回生)が、「それならば、頑張るお母さん達の子育てを応援しよう!」と朝の取り組みを始めました。

朝食を食べに来る子ども達の多くは中学生で、みんなで食事をした後、連れ立って登校して行きます。



自分一人では難しく感じる事も、やってみたいと声に出してみれば沢山の人が協力してくれます。スタッフの姿を見て、こんな人に自分もなれたらいいなと思ってもらえるように頑張ります」と山崎さんは語ってくれました。

子ども食堂の取り組みに興味のある方は、是非一度足を運んでみてください!

同志社大学ASUVID今出川の活動紹介

ASUVID今出川は、同志社大学に誕生して7年目の学生主体のボランティア団体で、京都周辺で地域に根ざしたボランティア活動を行なっています。現在は、1年生から4年生まで合わせて293名で活動しており、同志社最大のボランティア団体です。ボランティア活動の他にも、社会問題について理解を深める勉強会も行なっています。

これらの活動はすべて、所属する学生達の企画運営で実施され、学生が考え、感じ、成長するきっかけにもなっているそうです。

地域のお祭りで、ゴミ分別やリユース食器の回収などの活動をしています。
ご希望があれば、上京区社協までお問い合わせください!



〈鴨川清掃活動〉年に数回、環境保護セクションが中心となって、学生自身が鴨川にて清掃活動を行っています。5~7人ほどのグループに分かれて、歩道や川の中に捨てられたゴミを回収しています。



〈キャップコレ〉キャップコレとは、ペットボトルのキャップを集めて、そのお金で開発途上国の人達にワクチンを届ける国際ボランティアです。キャップ860個でポリオワクチン1本になります。チーム員は、大学の一般学生からキャップを集め、それをリサイクル業者に持っています。

その他の活動

- 過疎化や高齢化が進む地域でのお祭り運営のお手伝い
- 災害に備えた講習
- 経済的に厳しい家庭の子ども達を対象とした学習支援



「現在も京都でニーズを探し、活動の幅を広げていこうと奮闘中!! 明るく元気に学生だからできることに取り組んでいます」